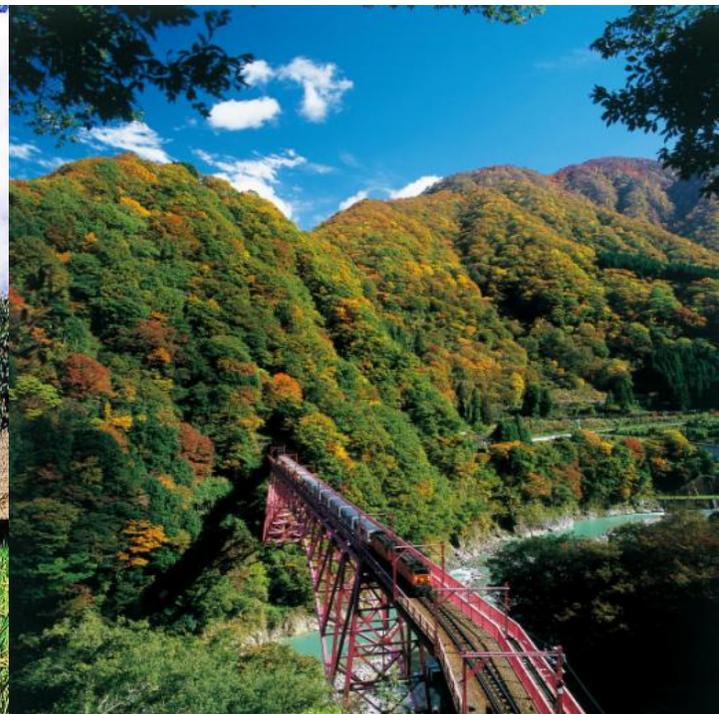


環日本海クルーズの推進に向けて —伏木富山港の取り組み—



富山県土木部港湾課



日本海側の中央に位置する対岸諸国へのゲートウェイ



日本で唯一の絶景！

20mの高さにせまる巨大な雪の壁「雪の大谷」

立山黒部アルペンルート全線開通

4月16日-11月30日

「雪の大谷ウォーク」4月16日-6月22日



日本一のアーチ式ダム「黒部ダム」
高さ186m、提頂長492m

ダイナミックな放水！



紅葉の赤、雪の白、空
の青のコラボレーション
が美しい





日本一の深さのV字峡谷の上を走るトロッコ電車！



新緑の中を走るトロッコ電車



紅葉が美しい中を走るトロッコ電車



日本で一番古い民謡
「こきりこ節」



ライトアップされた冬の合掌集落の景色は、まるでおとぎ話の世界！



ミシュラン日本版で「五箇山」が三つ星☆☆☆評価

富山のあたたかい「おもてなし」が乗客の皆さんをお迎えします



無料シャトルバス



観光案内所



無料のWi-Fiスポット



マーチングバンド



入港歓迎式典



花火でお見送り

日本海側の「総合的拠点港」伏木富山港のさらなる発展

日本海側の「総合的拠点港」 (H23年11月選定)
 「機能別拠点港」

- ① 国際海上コンテナ
- ② 国際フェリー・国際RORO船
- ③ 外航クルーズ

さらなる発展

コンテナ貨物

RORO船

外航クルーズ



2隻同時接岸同時荷役

新湊地区



RORO船への荷役状況

富山地区



14万トン級クルーズ船寄港

伏木地区

ボイジャー・オブ・ザ・シーズ
 137,276トン 総乗客定員3,840人

☆定期コンテナ航路が充実

- ・上海便 週1便⇒週2便⇒週3便 (H24.11~)
- ・ウラジオストク便 (H24.8~)
 月2便⇒月6便(全国最多)

国際コンテナ取扱個数
 過去10年間の増加率 (H14⇒H24)

伏木富山	全国
1.7倍(5.6%/年)	1.4倍(3.2%/年)

☆ウラジオストク定期便RORO船
 月5便(全国第1) (H24.10~)

主要貨物：ロシアへの中古車輸出台数
 全国1位 (シェア52% (H24)) ※貨物船輸送含む

☆国内RORO船航路季節運航中

- ・伏木富山港～苫小牧港 8月～11月(月1便)

☆可能性を秘めるRORO船

- ・荷役機械が不要・船舶の振動が少ない
- ・荷崩れや荷痛みが少ない(輸送品質の確保)

☆外国のクルーズ客船の寄港実績

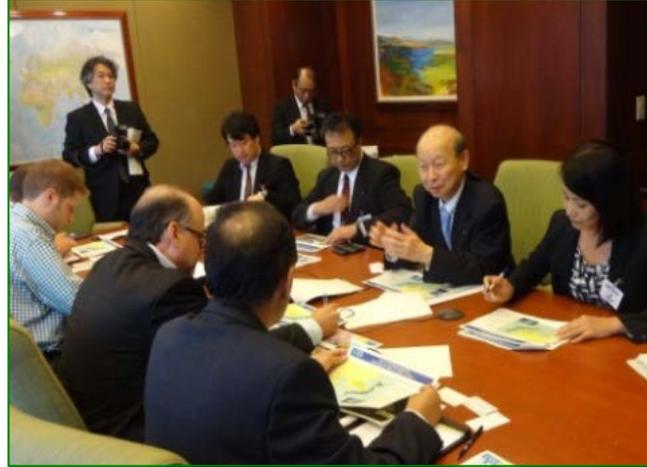
H24. 5	クラブ・ハーモニー	25,558t
H24. 6	コスタ・ピクトリア	75,166t
H24. 8	クラブ・ハーモニー	25,558t
H25.9	“アジア最大級のクルーズ客船” ボイジャー・オブ・ザ・シーズ	137,276t
H26.4	ダイヤモンド・プリンセス	115,875t

⇒クァンタム・オブ・ザ・シーズ(167,800t)の寄港誘致を目指す!

外航クルーズ客船誘致に向けた様々な取組み



マイアミ見本市でのPR



石井知事のマイアミ訪問



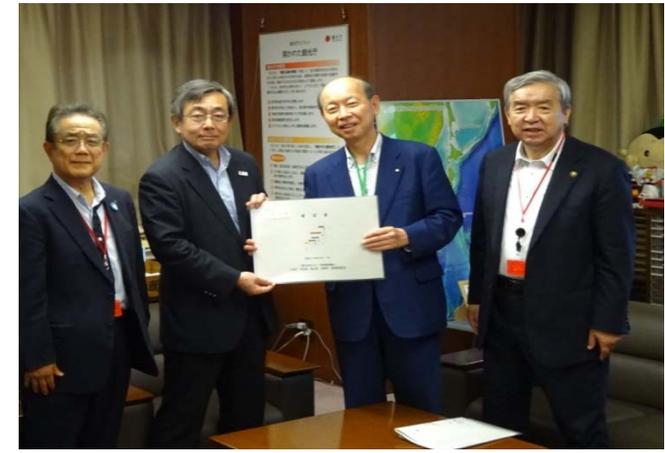
シルバーシー社幹部表敬



港湾説明会の開催



国土交通省への要望



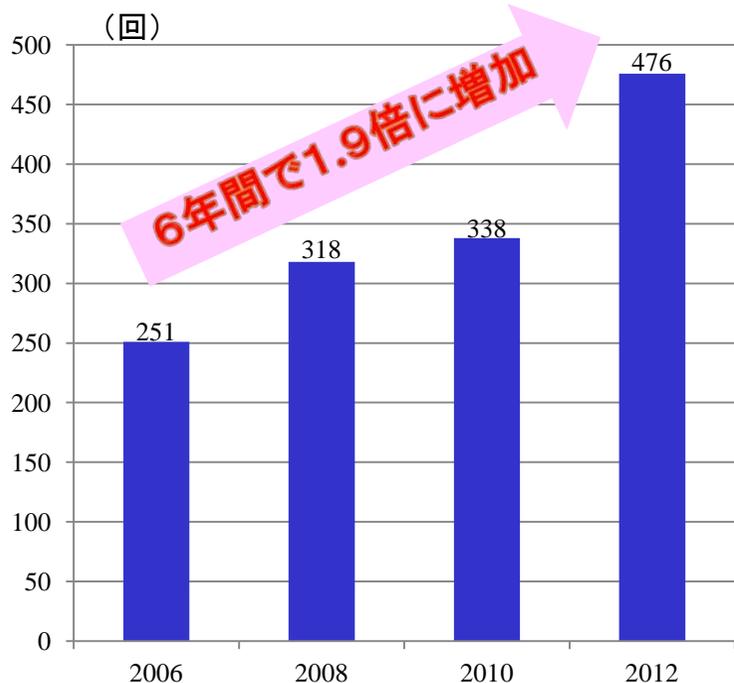
観光庁への要望

外航クルーズ客船の寄港動向

- ◆アジア域内のクルーズ需要の増大を受け、日本への外航クルーズ客船の寄港数増加やクルーズ船の大型化が進んでいる。
- ◆近年、外国クルーズ客船の日本への寄港回数が増加しているものの、九州・沖縄地域に集中しており、日本を代表する観光地を背後に有する日本海側港湾の潜在能力が生かされていない。

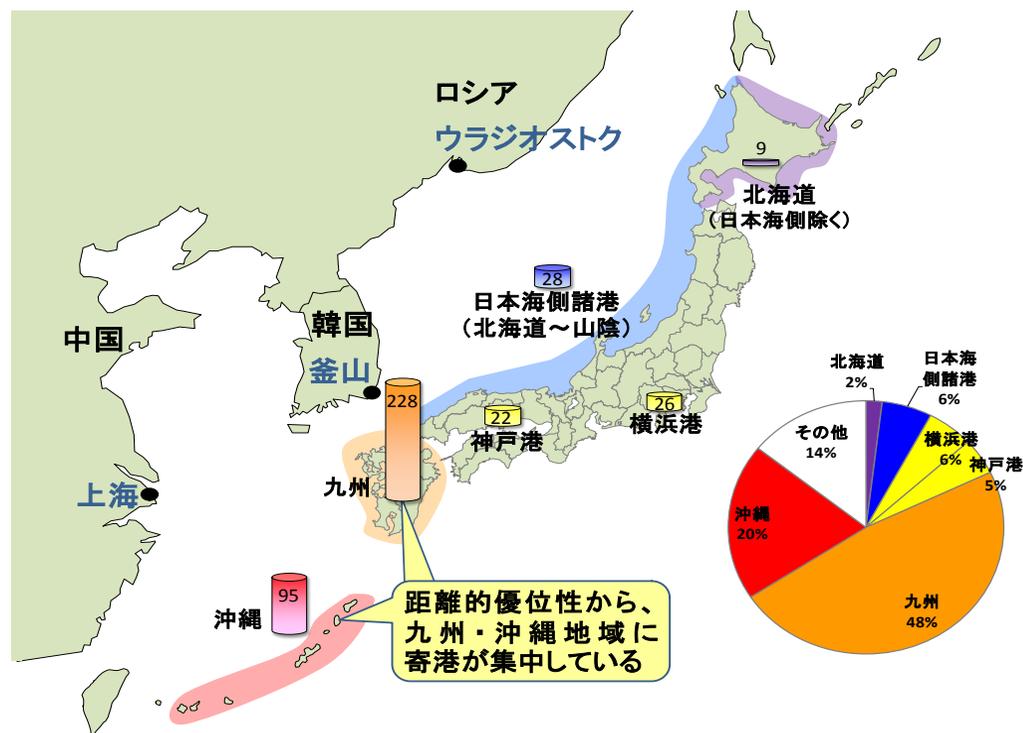


我が国港湾への外航クルーズ客船寄港回数



※出典:国土交通省港湾局

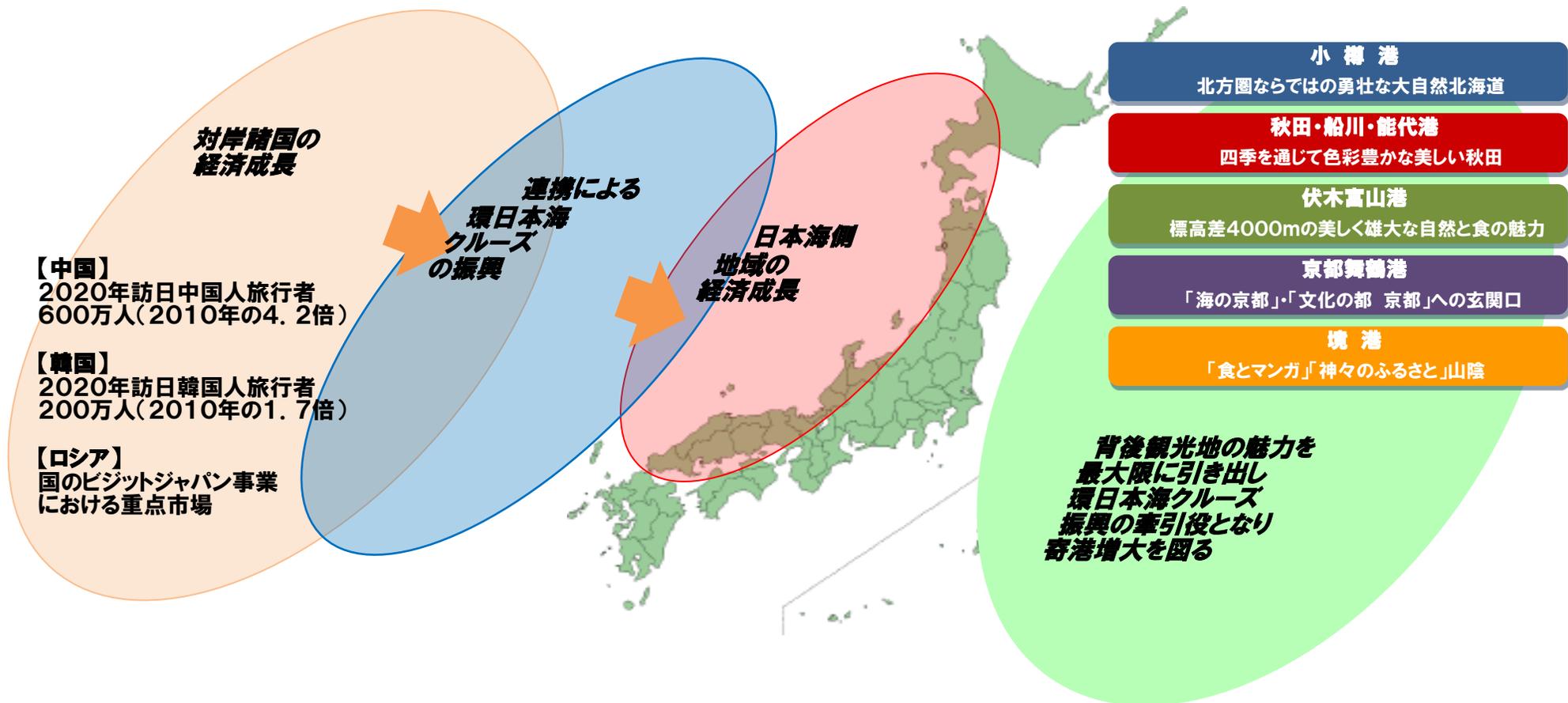
地域別寄港状況(2012年)



環日本海クルーズ推進の目的

- ◆小樽港、秋田・船川・能代港、伏木富山港、京都舞鶴港、境港が連携して環日本海クルーズの振興を推進することにより、日本海側地域の経済成長と観光立国を目指す我が国の施策に貢献する。
- ◆それぞれ特色ある背後観光地を有する5港の連携は、対岸諸国発観光クルーズの大きな誘引力になるほか、緯度の違いを生かして日本観光の大きな魅力である「四季の姿」の移り変わりを一つのクルーズで提供することができる。

⇒国が目指す、2020年の「クルーズ100万人時代」実現に寄与



伏木地区の概要



伏木地区



小矢部川

右岸1～5号岸壁

左岸1～5号岸壁



飛鳥II寄港 H25.8.29ほか2回

10m以上の公共岸壁	
-14m岸壁 (暫定-12m)	1バース
-10m岸壁	5バース
保管施設	
野積場 (県営)	140,652m ²
倉庫34棟 (民営)	30,326m ²
サイロ19基 (民営)	19,784m ²
荷役機械	
水平引込式クレーン (県営)	1基
水平引込式クレーン (民営)	2基
上屋	
5棟 (県営)	7,649m ²

万葉1号岸壁
(-7.5m) 130m

万葉2号岸壁
(-10m) 190m

万葉3号岸壁
(-14m) 280m

H25.9.11
ボイジャー・オブ・
ザ・シーズ寄港

大型化が進むクルーズ船

船名	船型<総トン数>	船幅	乗客定員
飛鳥Ⅱ (邦船最大のクルーズ船) 初就航:1990年	<50,142トン> マスト高 45m 必要岸壁水深 9m程度 満載喫水 7.8m 全長241m	29.6m	872人
Legend of the Seas (中国発着クルーズで日本に頻繁に寄港するクルーズ船) 初就航:1995年	<69,130トン> マスト高 50m 必要岸壁水深 9m程度 満載喫水 7.7m 全長264m	32.0m	1,804人
Voyager of the Seas (2012年、日本に32回寄港予定の大型クルーズ船) 初就航:1999年	<137,276トン> マスト高 63m 必要岸壁水深 10m程度 満載喫水 8.8m 全長311m	38.6m	3,114人
Queen Mary 2 (日本に寄港した最大のクルーズ船) 初就航:2004年	<148,528トン> マスト高 62m 必要岸壁水深 12m程度 満載喫水 10.3m 全長345m	41.0m	2,592人
Oasis of the Seas (世界最大のクルーズ船) 初就航:2009年	<225,282トン> マスト高 65m 必要岸壁水深 11m程度 満載喫水 9.1m 全長360m	64.0m	5,400人

出典:「クルーズシップコレクション20102011(海客プレス社)」、船社代理店への聞き取り調査を基に国土交通省港湾局作成。

※日本の主な橋梁の桁下高

レインボーブリッジ:52m

横浜ベイブリッジ:55m

関門橋:61m

明石海峡大橋、女神大橋(長崎):65m



パノラマ
キトキト
富山に
来られ

TOYAMA: Where Japan goes to relax!

どうぞ日本の真ん中富山で 楽しい旅を！



Japan. Endless Discovery.